

第二回学連総会議事録

1. 出席

幹事長	松浦	出席
副幹事	中村	出席
	松田	遅刻
事務局長	天野	出席
会計部長	佐藤	出席
普及部長	矢野	出席
広報部長	杉原	出席
競技部長	石野	出席
渉外部長	青島	出席

加盟校渉外 全員出席

2. 学連幹事の承認

前回総会を欠席のため今回会議で承認を取る。

広報部長 杉原 全校賛成により承認

3. 諮問委員について

京女の諮問委員 大井さん

阪大の諮問委員は前回総会で中西さんにしていたが、本人了承がうまく取れていなかったため、江田さんに変更。

4. ロング、ミドルの推薦規約について

(i)各校の意見

大阪大学

・ミドル

Aエリートの推薦基準については枠の配当が決定してから話し合うべき。

ロング同様、やむを得ない事情でインカレ欠場した選手に対して例外として推薦対象に認める、という文言を加える。

京都大学

・ロング

優先度3は削除

優先度2は、毎回変更を加えると手間なため、人数は変更なし。また、人数を変えなくても、速い人を選ぶという点では問題はない。

・ミドル

次点を取る場合、ロングの優先度2を付け加える。

同じ優先度の推薦希望者の諮問委員の判断基準は、ロングに添わせる。

奈良女子大学

・ロング

優先度3は削除

優先度2順位の変更はなし。人数が変わるたびに変更するのも大変。

・ミドル

諮問委員の判断基準について、やむを得ない事情を考慮、という内容をロング同様に追加する。

京都女子大学

・ミドル

ロングセレと同様の優先度で決定する。

優先度2は削除。

優先度4はロングに添わせる。

(ii)各校の意見まとめ

ミドル

優先度1の順位は変更しない

優先度2は削除

優先度4はロングに添わせる

→全校賛成により承認

ロング

優先度1,2変更なし

優先度3は削除

→全校賛成により承認

ロングの規約にある、「やむを得ない事情によりインカレに出場できず上位の優先度には該当しないもののその他の推薦提出者よりも明らかに実力があると諮問委員会が判断した場合は本推薦基準を超越した選出を行うことができる。」という内容をミドルにも追加する。

→全校賛成により承認

5. ミドルセレの日程とテレインについて

(i)各校の意見

大阪大学

・テレイン

希望ヶ丘 インカレが開かれたがせれはない。地図精度が高い。

四季の里 地図修正により精度が高い。

土山 現役生の入山が少ない。

・日程

11/29 12/6

京都大学

・テレイン

土山 正確なナビゲーションが問われる。なお、現役生は調査に入っていない。

四季の里 ミドル向けのトレイン。交通が良い。

伊勢治田

・日程

11/15 12/23 11/29

12/6,12/13は東山MMの運営補助が入る可能性があるので避けたい。

奈良女子大学

・トレイン

四季の里 尾根辿りが問われる。

嶽山 道が少ないため正確な地図読みが求められる。

希望ヶ丘 微地形が多く、細かい地図読みが必要。

・日程

11/29 12/6 12/13

京都女子大学

希望ヶ丘 過去にインカレが開催されたこともある。地図精度が高い。

土山 調査者が卒業したため

四季の里 過去に何度も開催

希望ヶ丘では公平性に問題があるのであれば、以下繰り上げ。

・日程

11/15 12/6 11/29

(ii)トレインについての議論、結論

希望ヶ丘 3大学が希望

東青山 全大学が希望

土山 3大学が希望

したがって、この中でトレイン候補の優先順位を決定する。

各校意見

京大は、阪大が昨年度の二定の運営を行ったため公平性に問題がある、として希望ヶ丘に反対。(阪大もその点については認識はしている)

誰も入ったことがないので奈良女では土山が候補に出なかった。(上回生の中には候補としてあげている人もいた)

土山は交通の便が悪い。→最寄駅からシャトルバスで片道30分・公共バスは接続がわるい。

四季の里については、セレを何度も行っている、ウェルカムで入った、という理由で反対意見があがった。

投票の結果

第一希望

希望ヶ丘 阪大

東青山 奈良女

土山 京大、京女

→第一希望は土山に決定

第二希望

四季の里 京大、京女、奈良女

希望ヶ丘 阪大

→第二希望は四季の里、第三希望は希望ヶ丘に決定。

(iii)日程についての議論、結論

各校意見

京女の祝日授業、京大の東山MMの運営補助を除くと、候補日は11/29,11/15

11/29は第1回KOLC大会。インカレミドルのテレインに似たテレインでの開催。

11/15を含めていない点に関して、阪大、奈良女は特に理由はない。

11/15はインカレロングの1ヶ月後。ミドルの練習が足りるか不明。

11/15について多数決を行う。→賛成2(京大京女)。

12/6を第一希望とし、京都OLCに東山MMの試走日程を11/29にしてもらうよう相談する(7/11に結果が出る)。

→賛成4につき、承認。

第2希望は11/15とする。

→賛成2(京大京女)

奈良女から、11月は大会が多く、3週連続となるため厳しいのでは、という意見が出る。

第二候補の日程については11/15,11/29について各大学話し合いを行い、結論をuofkに流す。

スプリントセレの時に臨時総会を行い、第二希望について最終決定を行う。

6. 近畿OL連絡会

日程：8/9

uofkを通じて資料を配るので、返送。→各校渉外

以前から学生の参加が少ないので参加するように。→各校渉外、関西学連幹事、副幹事

7. 京大京女大会の後援申請

後援申請は幹事会の承認が必要。

→幹事の全会一致により承認

8. 各部局からの連絡

・競技部長

特になし。

・事務局長

加盟登録手続きをお願いします。→名簿送信、お金の入金

・広報部長

特になし

・会計部長

関西学連ホームページに、各大会、練習会の会計担当のために会計マニュアルを作成中

・普及部長

10月に球技大会、2月に女子対抗戦を予定。

・渉外部長

(i)奥鹿野の渉外

渉外マニュアルに従い、最初に区長に連絡を取るが、取り合ってもらえない。

過去に渉外トラブルはなく、最後の使用は2年前の京大練習会となっているため、現在の状況から区長が変わったものと判断している。

対策として、まず三重県協会に連絡を取り、現状報告とアドバイスを仰ぐ。続いて市役所に連絡をとる。

(ii)渉外部長代理

現在の渉外部長(青島)が8月の間に国外にいるため、その期間中は代理として副幹事長の中村が渉外を行う。

・副幹事

新歓合宿の地図代の振込みが終わっていないため、これまで決算を流していなかったが、それを待たずに後日メーリスに流す。

・幹事から

日本学連幹事会での話し合いの報告

(i)インカレの写真撮影時間

インカレミドルリレーでは写真撮影時間を取らなかった。それについてのアンケートの結果、

「時間が短縮され、安全でよかった」という意見が多く寄せられたため、今後のインカレでは写真撮影時間を設けない。

(ii)インカレロングの女子人数

ロングのみ女子40人だが、ミドルやスプリントの30人に統一していいのではないか、という意見が総会で挙がった。

スプリントやミドルはインカレの参加者数に従い30人に設定され、ロングは競技者人口に従い40人に設定されている。

これは今後変更が加えられる可能性がある。

(iii)ミドルインカレ一般クラスの住み分け

現状、選手権がメインであるインカレでは一般クラスの選手全員が早めに帰還するよう、簡単に設定されているものの、一般Aの参加者が多く、一般Bはほとんどいない。

この事実について日本学連の意見の意向として、一般Aを選手権Bの難易度まで上げ、一般Bの難易度も少し高くし、Aの参加についてガイドラインを作る、というものが考えられている。

→セレでのボーダータイムの150%以内(目安)。女子については検討の余地あり。

日本学連の考えとしては、今後ロングにも適用していく予定。

これらについて各校話し合いを行う。

今後日本学連の議事録をuofkに流すので、各校渉外が転送。

9. スプリントセレの選出方法および推薦について

(i) スプリントの推薦枠について

大阪大学

- ・あまり話し合っていないが、参考になるレースが少ないので今回は設けない。

京都大学

- ・参考にできるレースがないことや、急な話なので不公平になるといった理由から、設けない。

奈良女子大学

- ・参考となるレースが少ないため、設けない。

京都女子大学

- ・設けない。

今年度のスプリントセレにおいては推薦枠は設けない。

→賛成4につき、承認。

(ii) 選出方法

総通過者に対して、第二レースで取る人数の割合について各校意見

大阪大学

- ・2割か1割。3割は多いので不可。

京都大学

- ・1人で固定(割合ではない)。2レース目から取るのは妥当だが、多すぎるのは良くない。

奈良女子大学

- ・1割。1レース目と傾斜をかけることで、片方のレースのみに絞る人が減る。

京都女子大学

- ・2割。

2レース目で取る人数は1人もしくは1割。

→3校(阪大京大奈良女)賛成により決定。

割合を取った時の、端数の扱いについて

切り上げ 奈良女

切り捨て(最低1) 0

四捨五入(最低1) 阪大京大京女

→四捨五入(最低1人)に決定。

1レース目のレース結果は公開する。

→賛成4につき承認。

1レース目と2レース目の通過者が一致した場合、次点をとるか否か。

1レース目の通過者はセレクション対象から外す。→賛成4人につき、承認。

スプリントセレの実施規約の草案

参加資格の決定は11月総会か、2月総会で行う。

開催場所が外部委託となった場合についての文の追加等の話し合い。

セレ免除者→とくに設けない。

選考方法は先ほどの決定も追記。

10.その他の連絡

京都大学

第二回定例戦をガリバーで行う。

ロングセレ運営者

シード選手を今回行ったが、それについて今後行っていくかのアンケートを行う。→各校渉外は簡単に意見をまとめておく。